



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な活動に制限が出ています。これにより、現場は不安や悩みを抱えますが、同時に新たな創意工夫が生まれています。「つながる通信」では、そうしたコロナに負けない地域の繋がりやパワーを発信し、各地でお役立ていただく一助となれればと願っております。



そば打ちは、ひまわり会（70代後半～80代の女性たち）が中心で行い、薬味やめんつゆなどの準備は台花クラブ（50代～70代前半の女性たち）、男性たちは伸ばしたそばの生地を麺にする作業やゆでる作業をしていました。指示をしなくても自然に分かれて作業をしているようです。

藪塚地区 台そば打ち会



地域の年長者が若い人に生地の伸ばし方や麺の切り方を教えています。地域の行事を開催することで違う世代の人たちとコミュニケーションをとる場になっています。そば打ちの知識や技術を若い人に伝え、受け継がれていきます。

裏面へ続きます→

地域のお宝発見♥～太田市生活支援体制整備事業～

そば打ちが始まった経緯

台では、台水土里推進協議会の事業の一環でそばの種まきからそば打ちまで全て地域で行っています。以前は、そばの種まきから収穫まででしたが、そばを上手に打てる「そば打ち名人」が地域に何人もいるということで、3～4年前から地域でそば打ちも行うようになりました。

参加者の方々



ひまわり会 小林栄子さん
収穫したそばを粉にするまでの作業をされていました。地域の人たちは、「そばは、粉にするまでが大変。栄子さんがいたからそば打ちができる。」と話していました。



ひまわり会 小林なみ子さん
そば打ち名人のひとり。地域の人たちはこねあがった生地をなみ子さんに見てもらっていました。「そばやうどんは何千回打ったかわからないよ。」と冗談交じりにお話してくれました。

台花クラブ 末永あけみさん

「自分の親世代である方（80代くらい）がメインで引っ張っていられています。自分たちはそれをサポートする形で手伝っています。」



寅のかかしを作りました！

戸谷さんと台花クラブのメンバーで台の入口の牛のかかしを寅のかかしへ作り変えました。若い人たちが一緒に活動する機会になっています！



チェックポイント

○コロナ禍で行事を中止にしている地区も多い中、感染対策をしてそば打ちをすることで**住民同士がつながる機会**になっています。

○地域の**高齢者の活躍する機会**になっています。

○台地区の一体感は、年間を通して**定期的に行われる様々な行事を地域のみなさんで行うこと**で生まれるものです。地域のことを考えて**一生懸命活動しているリーダーさん**をみて**地域の人たちもできる範囲で協力**していく、**地域が元気**になっていくというサイクルが出来ているように感じました。



お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は下記お問合せまで！



詳しくはこちら

お問い合わせ
太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032